

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第3部門第3区分  
 【発行日】平成25年2月28日(2013.2.28)

【公開番号】特開2011-148945(P2011-148945A)  
 【公開日】平成23年8月4日(2011.8.4)  
 【年通号数】公開・登録公報2011-031  
 【出願番号】特願2010-13178(P2010-13178)  
 【国際特許分類】

C 0 8 G 69/26 (2006.01)  
 C 0 8 L 77/06 (2006.01)  
 C 0 8 J 5/18 (2006.01)  
 B 6 5 D 65/02 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 G 69/26  
 C 0 8 L 77/06  
 C 0 8 J 5/18 C F G  
 B 6 5 D 65/02 E

【手続補正書】

【提出日】平成25年1月10日(2013.1.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

メタキシリレンジアミンを30モル%以上含むジアミン成分とジカルボン酸成分とを重縮合して得られるポリアミド(A)を含有する、アニソール類バリア性に優れた包装用材料。

【請求項2】

ポリアミド(A)のガラス転移点T<sub>g</sub>が55～100である請求項1に記載の包装用材料。

【請求項3】

ポリアミド(A)の60、90%RHにおける2、4、6-トリクロロアニソール透過係数が0.0050g・mm/m<sup>2</sup>・hr以下である請求項1に記載の包装用材料。

【請求項4】

ポリアミド(A)が、メタキシリレンジアミンを30モル%以上含むジアミン成分と、炭素数4～20の、-直鎖脂肪族ジカルボン酸を50モル%以上含むジカルボン酸成分とを重縮合して得られるポリアミドである請求項1～3のいずれかに記載の包装用材料。

【請求項5】

ポリアミド(A)が、メタキシリレンジアミンを70モル%以上含むジアミン成分と、炭素数4～20の、-直鎖脂肪族ジカルボン酸を70モル%以上、及びイソフタル酸を1～30モル%含むジカルボン酸成分とを重縮合して得られるポリアミドである請求項1～3のいずれかに記載の包装用材料。

【請求項6】

ポリアミド(A)が、メタキシリレンジアミンとパラキシリレンジアミンを含み、メタキシリレンジアミンが30モル%以上であるジアミン成分と、炭素数4～20の、-直鎖脂肪族ジカルボン酸を50モル%以上含むジカルボン酸成分とを重縮合して得られるポ

リアミドである請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載の包装用材料。

【請求項 7】

ポリアミド(A)が、メタキシリレンジアミンとアジピン酸とを重縮合して得られるポリアミドである請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載の包装用材料。

【請求項 8】

ポリアミド(A)が、メタキシリレンジアミンとセバシン酸とを重縮合して得られるポリアミドである請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載の包装用材料。

【請求項 9】

ポリアミド(A)が、メタキシリレンジアミンとアジピン酸とセバシン酸とを重縮合して得られるポリアミドである請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載の包装用材料。

【請求項 10】

ポリアミド(A)が、メタキシリレンジアミンとアジピン酸とを重縮合して得られるポリアミドと、メタキシリレンジアミンとセバシン酸とを重縮合して得られるポリアミドの混合物である請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載の包装用材料。

【請求項 11】

請求項 1 ~ 10 のいずれかに記載の包装用材料からなる食品保護フィルム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0026

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0026】

本発明の包装用材料は、ポリアミド(A)の60、90%RHにおける2,4,6-トリクロロアニソール透過係数が $0.0050 \text{ g} \cdot \text{mm} / \text{m}^2 \cdot \text{hr}$ 以下であり、好ましくは0.0040以下である。この範囲であると、他の同様の構造を有する化合物であるアニソール類やその置換体などに対するバリア性が良好である。アニソール類として、アニソール、トリクロロアニソール、アニスアルデヒド、アネトールおよびそれらの置換体等が例示できる。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0033

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0033】

(1) アニソール類バリア性

60、90%RHの雰囲気下にてISO6179:1998(E)B法に準じてフィルムの2,4,6-トリクロロアニソール透過度を求め、フィルム厚みを考慮し2,4,6-トリクロロアニソール透過係数( $\text{g} \cdot \text{mm} / \text{m}^2 \cdot \text{hr}$ )を測定した。測定は、2,4,6-トリクロロアニソール約5gをステンレス製カップにいれ、透過面積60mm<sup>2</sup>として試験片で封じ2~3日ごとに重量測定し、減少分を2,4,6-トリクロロアニソール透過量とした。なお、値が低いほどアニソール類バリア性が良好であることを示す。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0047

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0047】

【表 1】

	ポリアミド(A)	2,4,6-トリクロロアニソール 透過係数
		$\text{g}\cdot\text{mm}/\text{m}^2\cdot\text{hr}$
実施例1	S6007	0.0024
実施例2	A1	0.0035
実施例3	A2	0.0026
実施例4	A3	0.0041
実施例5	A4	0.0023
実施例6	A5	0.0037
実施例7	S6007/A1 1/1ブレンド	0.0030
実施例8	S6007	0.0007
比較例1	N6	0.0071
比較例2	LLDPE	<u>0.092</u>